

炭素循環の中の人間！

前号まで、SDGsのうち木材業界に関わりのありそうな5つの目標について考えてきました。今回は炭素循環という視点で考えてみます。既報(291号、293号)でも「人は死んだらどうなるの?」「人は一年間に柱14本分の炭素を排出している!」と話題を提供してきましたが、再度考えてみました。体重50kgの人を火葬すると約9kgの炭素(33kgの二酸化炭素)が放出されます。これを炭素原子で考えると、地球上にくまなく分散したとしても、10中に8.8万個が含まれているという事です。即ち、身近な人が亡くなったとすれば、その人の炭素原子が自分の周りに充満していることとなります。ということは、昔から言われていた「ご先祖様がいつも見守ってくれている」という教えは間違っていないですね。自分から数えて10代前までの両親の総数(両親の両親の両親…とたどる)は1024人です。そのご先祖様が見守ってくれていると考えると勇気がわいてきますね。

先月、子供達の木工教室に参加しました。ハートや鳥などのいろいろな形をした木片を磨いて自分のストラップを作ってもらいました。その大きさが、子供達の30分から1時間の呼吸で排出される二酸化炭素を木が吸い込んで大きくなったものだと説明したら驚いていました。(人間の呼吸や牛のゲップなども二酸化炭素の大きな排出源と言われています。ウッドマイルなど木材輸送に関わる問題も指摘されます)最近の自然災害の原因とされる地球温暖化は二酸化炭素の増加だと言われますが、木を植えて育てて大きくなったら、住宅や身の回りの製品として活用したら二酸化炭素を固定化して、持続可能な世界(SDGs)を作ることに寄与できることを、もっともっと自覚しPRしましょう

【情報】

建築関係資材が全般に値上がり？

集成材が少しは入手しやすくなりましたが、まだ値上がりは続くようです。KD材も今月から再値上げの話もあります。金物類も高くなりました。更に合板は入荷時の価格という事で見積りが難しい状況です。コンクリートも再度の値上げとなり、世間では「木材関連の会社は良いですね」との評価らしいが、材料集荷と逆ザヤとのしのぎあいに苦慮していることを分かってもらいたいですね



【定休日】

9月は4, 5, 11, 12, 18, 19, 23, 26日

10月は3, 9, 10, 16, 17, 23, 24, 31日となります (8/1 甲突川源流ウォークでの木工教室)

宜しくお願いします

(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)